

## ■フランス：スマートメーターに対し、個人情報保護機関が懸念を表明

個人情報の保護を担当する独立行政機関(CNIL)は2010年8月5日、フランス国内でERDFが導入を進めているスマートメーターについて、個人情報保護の観点から懸念を表明した。スマートメーターが設置されれば、時間ごとの電力消費形態を把握することが可能となるため、データを詳細に分析すれば、各家庭の起床・消灯時間等の行動パターン等を把握することができる。CNILは、スマートメーターの導入のためには、事業者のデータ管理の安全性の確保と秘密厳守の徹底が必要であるとの見方を示している。ERDFはこれに対して、需要家の電力消費状況のデータは暗号化して保存し、また、職員には個人情報の漏洩を禁止する倫理規定を厳格に守らせると説明し、万全の体制で臨んでいることを強調している。フランスでは、ERDFがトゥール及びリヨンの両地域において、約30万世帯の需要家にスマートメーターを設置するLINKYプロジェクトを進めている。